

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第14週(2024/4/1~4/7) 感染症発生動向調査速報値（2024/4/10時点）】

定点医療機関※新規患者報告数：**239**人、定点医療機関当たり**5.09**人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科28定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

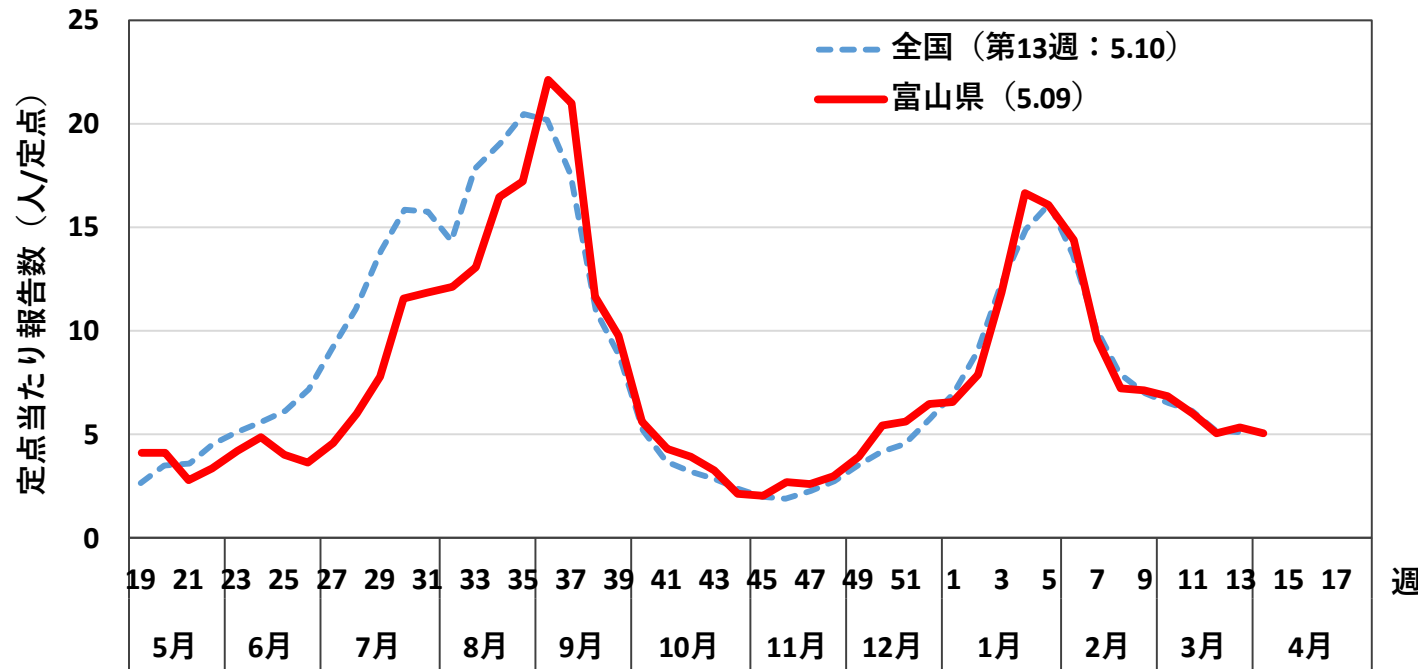
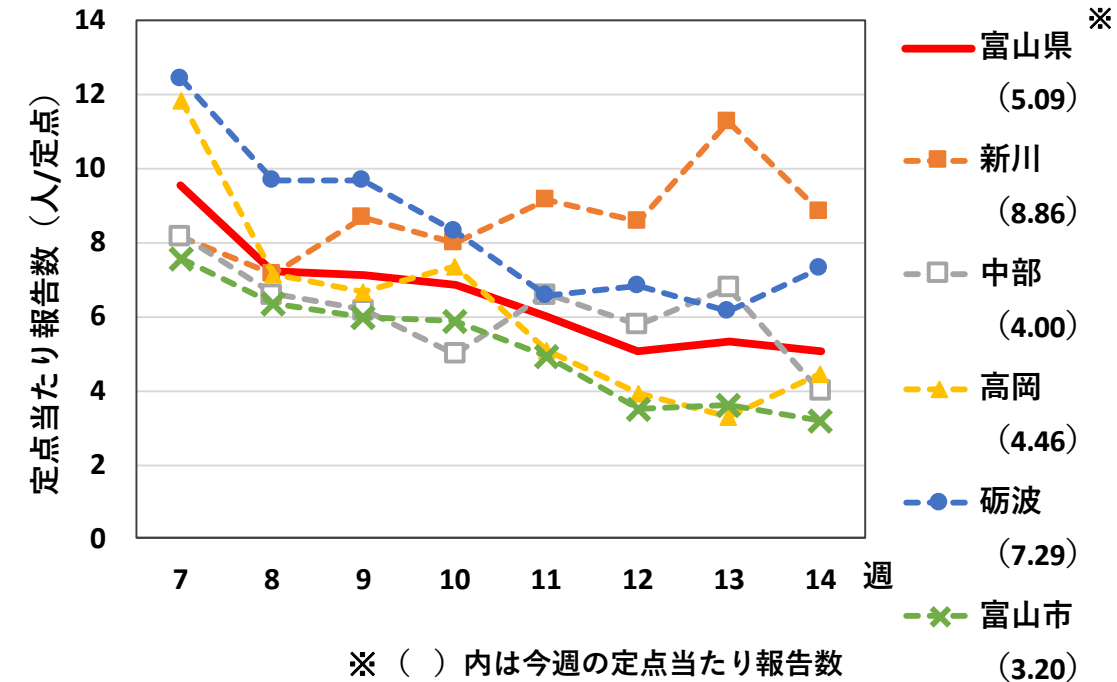


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- ・ 今週の定点医療機関当たり報告数は5.09人/定点であり、先週（5.35人/定点）からやや減少した（図1）。
- ・ 厚生センター・保健所管内別では、新川、中部管内で減少したほかは、先週からほぼ横ばいであった。

図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

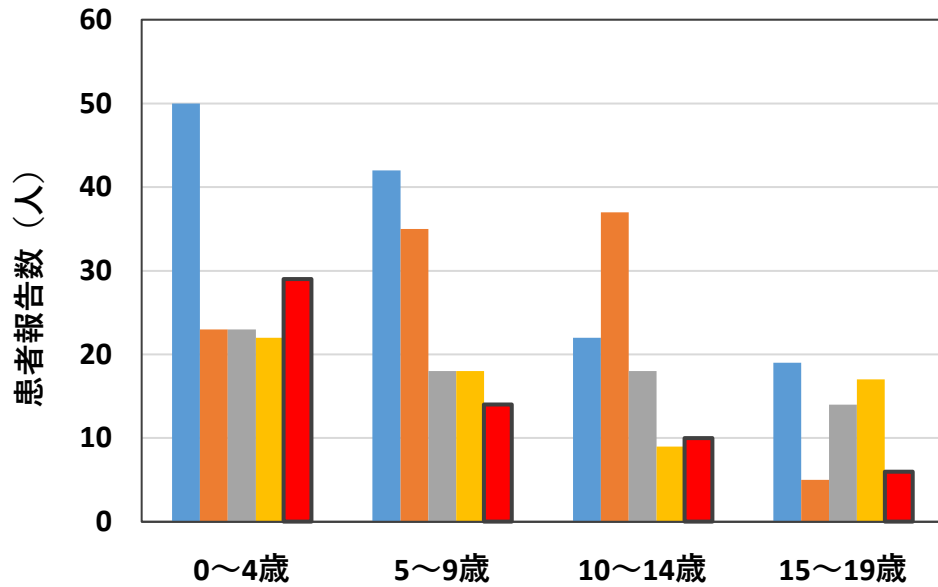
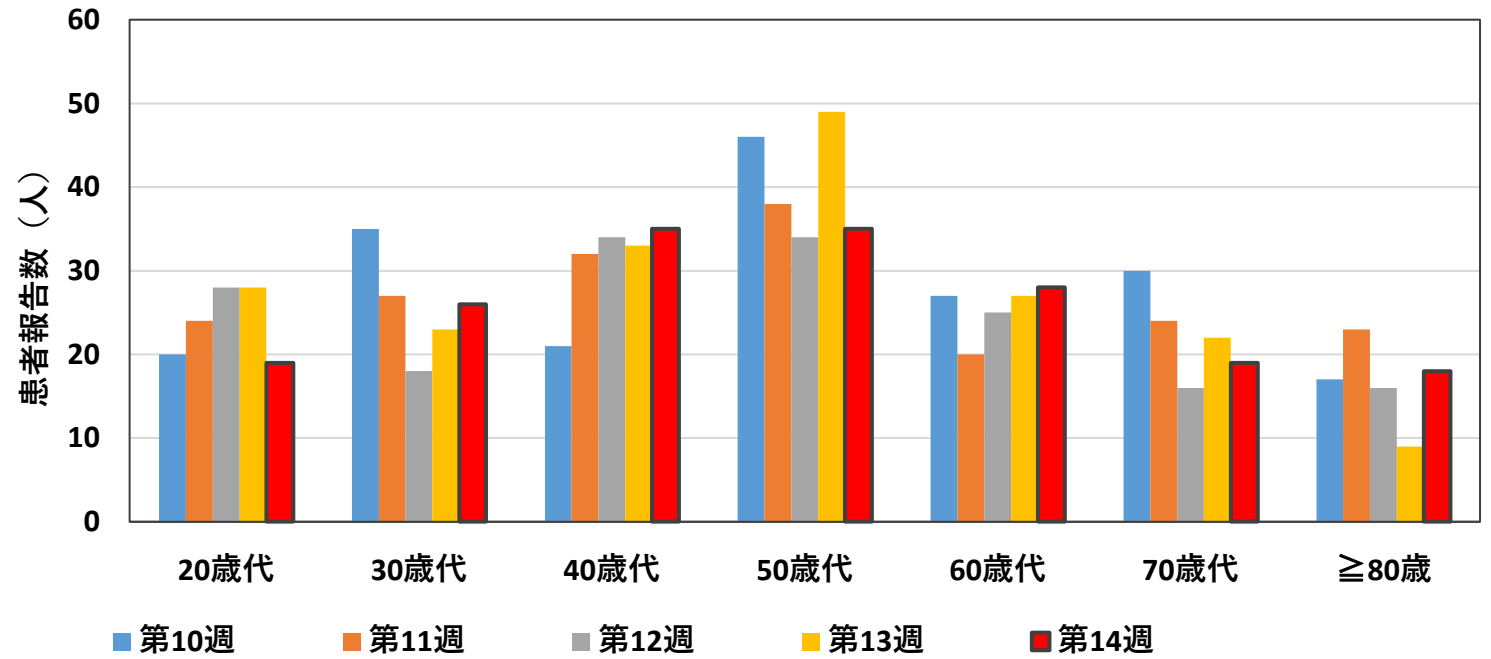


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：28定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 0~4歳、 ≥80歳で先週から増加した一方、 15~19歳、 20歳代、 50歳代で減少した。

図4. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

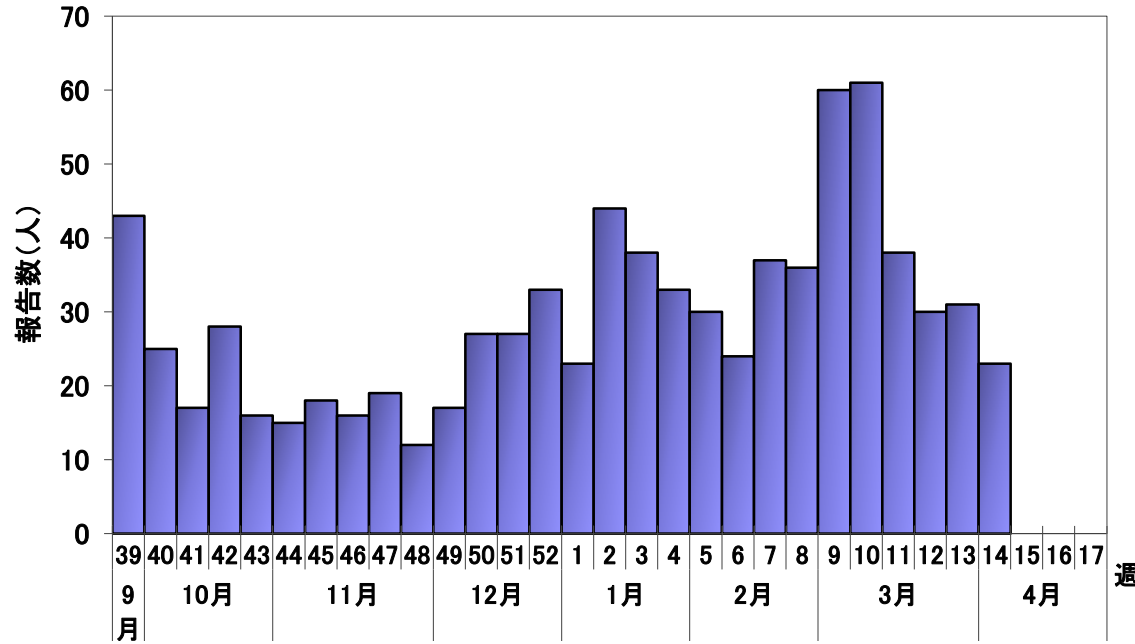
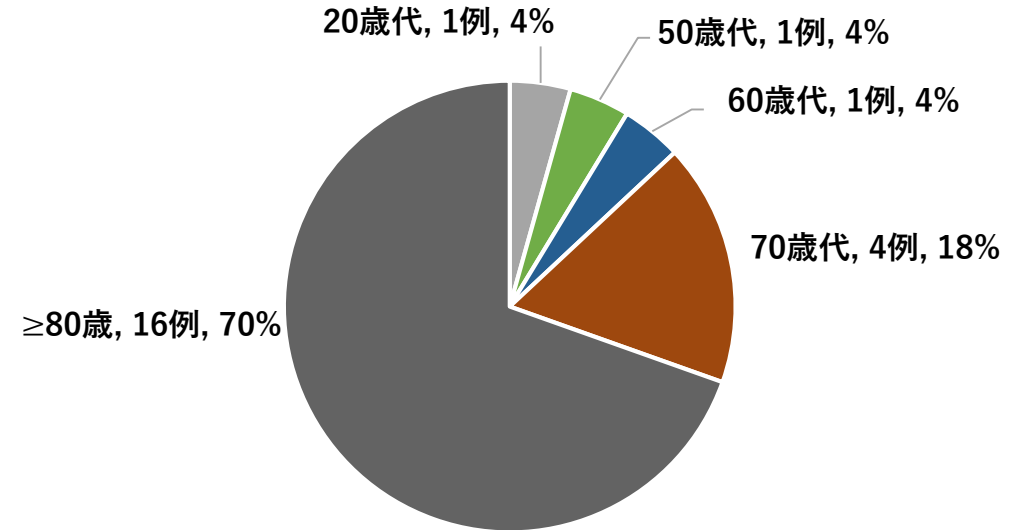


図5. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第14週、23例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第14週に23例の入院報告があり、先週（31例）より減少した（図4）。
- 年代分布では、70歳代が4例、80歳以上が16例で、70歳以上が88%を占めた。20歳代、50歳代、60歳代の報告がそれぞれ1例あった（図5）。
- COVID-19の患者報告数は、2024年に入り第4週をピークに減少傾向が継続しているが、減少の割合は鈍化している。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。